

YouTube は遊び場

こんにちは、松下です。

今回は、「YouTubeは遊び場」というテーマで話をしていこうと思
いますが、たまに生徒さんから「YouTubeとは、一体何なんでしょう
か？」という質問を受けることがあります。

私なりにYouTubeを一言で表現すると、それはズバリ「遊び場」な
んですね。

今回は、「YouTubeがなぜ遊び場なのか？」について詳しく解説し
ていきますので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは、張り切って参りましょう！

まずは、こちらをご覧ください。

こちらは2020年12月時点の、日本国内の人気YouTuberランキング
になります。

これを見ていただければわかると思いますが、上位20位までのチャ
ンネルは全て「遊び系」のチャンネルになっています。

YouTubeでは、視聴者の遊び心をくすぐるような、そんな楽しい動

画が注目され、大量にアクセスを集めています。

もっとわかりやすくいうと、例えば、授業中に後ろの方の席で居眠りをしている、やる気の無い生徒ってよくいましたよね。それっておそらく、先生の話がつまらないから、眠くなってしまうと思うんですね。

YouTubeも、それと同じ性質があります。

逆にいうと、居眠りをしないような、そんな楽しい話をしてしまうで、話を聞いてくれるようになりますよね。

そういう、話が面白い先生っていましたよね、遊びながら学ぶみたいな感じで。

あと、人通りの多い駅前などで、多くの人たちが立ち止まって、思わず見てしまうような、そんなことを動画でやると、アクセスアップに繋がります。

YouTubeの視聴者は、常にパソコンの向こう側にいて、姿が見えないでの、あまりピンと来ないかもしれません、見てもらえる理由はリアルの世界と全く同じなんですね。

多くの通行人が、「何だあれ?」「何か面白そうだな」と、思わず

立ち止まって見てしまうような、そんなことを動画でやるとうまくいくんですね。

特にノウハウ系の動画をやる場合、視聴者が退屈して眠くなりがちなので、そうならないように、シナリオを工夫する必要があります。

ノウハウ系の動画でも、視聴者が楽しみながら学べるような、そんな動画を撮ることができれば、アクセスを大量に集めることができます。

では、視聴者が楽しめるような、そんな動画を作るには、一体どうしたらしいのでしょうか？

それは、まず第一に、あなた自身が楽しむことです。あなた自身が楽しむことで、それを見る視聴者も、楽しむことができるようになります。

そのことを肝に銘じて、動画制作に励んでみてください。

以上が、「YouTubeは遊び場」というテーマで話をしましたが、い

かがだったでしょうか？

これから動画を作る際は、今回お話しした「YouTubeは遊び場」という概念を、しっかりとと思い出して、あまり堅苦しくならないように、視聴者が楽しめるような、そんな動画作りを心がけてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。